

→ 小児がんの子どもたちを救おうと 全国から医療の専門家が結集しました



©かとうゆーこ

第 31 号
発行日 2025 年 2 月 14 日
NPO 法人
日本小児がん研究グループ
JCCG 発行

GGSC2024特集号

9月の夜空をゴールドに ゴールドセプテMBERキャンペーン 2024

全国126か所のライトアップ &各地の多彩なイベント



JCCGは、ゴールドのライトアップで小児がんへの理解・支援を呼びかける世界的な啓発イベント「ゴールドセプテMBERキャンペーン」(Global Gold September Campaign:GGSC)を9月に開催しました。

北海道から沖縄まで全国126か所の名所にゴールドライトが灯り、各地では点灯式や啓発イベントも行われました。光とともにメッセージを届ける工夫や、自治体の協力も増え、あたたかい支援の輪が広がっています。

ぬくもりのライトアップ



奈良：川西文化会館コスモスホール（川西町）
奈良県の北部に位置し、人口約8000人の川西町。川西町役場の隣りに建つ文化会館は、県産天然木を使った、木のぬくもりが感じられる「木育広場」が無料開放されているなど住民に親しまれています。

奈良県川西町

「明日にでも町長にかけあいます！」



町職員手作りの啓発セット

キャンペーン直前の8月20日、川西町の職員さんより「住民の方からゴールドセプテMBERキャンペーンのことをお聞きしました。町としてもぜひ小児がんの子どもたちを応援し、皆さんにも周知したい。小さな町なので、明日にでも町長にかけあいます！」とJCCGにご連絡をいただきました。

小規模な町だからこそ意思疎通がはやいとのこと、即座に文化会館のライトアップが決まり、9月24～30日の点灯期間中は来館者に啓発冊子も配布されました。



第 31 号のコンテンツ



Gold September公式キャラクター

◆ゴールドセプテMBERキャンペーン 2024

- ・ぬくもりのライトアップ
- ・こどもフロアをゴールドに
- ・2024年のメインイベント



- ・人々をつなぐ光と歌声
- ・全国 126 か所のライトアップ (子どもたちが喜ぶ施設も続々と)
- ・スポーツの応援





なぜゴールド？ 小児がんの啓発カラー



病気に立ち向かい、厳しい治療を頑張っている子どもたちは金のように貴重な宝物だとの思いから「ゴールド」がシンボル色になりました。小児がんと向き合っている子どもたちと、彼らに必要な医療・ケアと研究に光を当てるとの意味と、子どもたちの未来が光り輝くようにとの願いもこめられています。

こどもフロアをゴールドに！



京都：京都高島屋（京都市）

京都市下京区四条河原町、京都の中心地にある京都高島屋。5階のこどもフロアは京都市内の百貨店で最大の売り場面積。

京都高島屋 「これからも子どもたちの幸せに 思いを寄せていきます」



企画宣伝部の宮本佳子さん(左)と井尻敬子さん

2024年7月、京都府立医科大学附属病院の勝見良樹医師が京都高島屋に、「ゴールドセプテンバーキャンペーン（GGSC）」のチラシを置いてもらえないかと依頼しました。このキャンペーンが、小児がんに対する理解を深め、治療支援を呼びかける目的だと知った担当者は、単にチラシを配布するだけでなく、「こどもフロア」としてできる限りの協力をしたいとし、ゴールドやゴールドを思わせる明るいイエローを用いた特別な売り場の展開を企画しました。こうした色は、「男の子っぽい」「女の子っぽい」といったジェンダーにとらわれにくいため、こどもフロアにぴったりだとの意見もあったそうです。8月27日から9月10日までのスペシャルコーディネートが決定しました。

担当者が各ブランドショップに協力を求め、ゴールドとイエローで彩られる売り場が完成。黄色い服には啓発メッセージを添えるなど、小児がん治療支援の趣旨がわかりやすくなる工夫も施されました。イベントスペースには、小児がんの現状やこれまでのキャンペーンの取り組み、勝見医師と同病院の家原知子医師のメッセージをパネルにして展示しました。

担当者によると、「興味を持って足をとめてくださる方が目立った。お母様とお子さんのお買い物を待つ間、熱心にご覧くださるお父様の姿も印象的でした」とのことでした。企画に携わった宮本さんは、「これまで小児がんのことをあまり知らなかったが、深く知ったことで『できることをしたい』との気持ちがふくらみました。これからもできる限り協力していきたい」と語りました。

～医師からのメッセージ～

私たちは、医療者としてつらい治療に負けずに日々を頑張っている子どもたちとその保護者さんを見てきました。

子どもの“がん”治療の世界では金メダルは一つではありません。みんなそれぞれものすごく頑張ってくれています。（一部抜粋）



家原 知子医師



勝見 良樹医師

共に京都府立医科大学附属病院



展示に見入る男性



2024年のキャンペーンテーマ



「小児がんの闘病と支援、みんなに金メダルを！」

～こんな風に治療がんばってます～わたしには何が出来るだろう」

2024年メインイベント

9月9日



「あったらいいな、こんな支援」がテーマのトークセッション



神奈川県立子ども医療センター

9月9日、神奈川県立子ども医療センター（神奈川県横浜市）で、2024年GGSCのメインイベントが開催されました。

「あったらいいな」と思う小児がんの支援についてのトークセッションをはじめ、ゴスペル歌唱やライブ演奏、ライトアップセレモニーが行われました。



同病院のファシリテッドッグ（※1）、ゴールデンレトリバーの「アニー」もトークセッションや点灯式に参加

※1 ファシリテッドッグとは
ファシリティ (facility) は施設のこと。病院施設に医療スタッフとして常勤し、子どもたちに寄り添い、治療を応援します。

日本では4か所の病院でファシリテッドッグが活躍しています。



幻想的なゴールドに包まれたライトアップセレモニー
点灯スイッチ担当は、左からアニー、黒田達夫総長、後藤裕明医務監、北河徳彦小児がんセンター長



同病院の医師、看護師、薬剤師、保育士らで結成したバンド「Swing for Kids」が郷ひろみさんの「GOLDFINGER '99」などを熱演。会場は大きな拍手で包まれました。



郷ひろみさんから届いた子どもたちとSwing for Kidsへの応援メッセージに、会場は大盛り上がり！

2024年メインイベント

神奈川県立こども医療センター

9月9日 子どもたちが、安心して 治療と日常生活を再立できるように

「あったらいいな、こんなサポート」

小児がんでは、不安やストレスを軽減する心理的サポート、入院中も学ぶことができ、学校へ戻る際に困らない手助けや個々に応じた学習プログラムを提供する教育サポート、病気や治療についてわかりやすく説明し、家族の適切な決定を助ける情報提供など、必要なサポートがたくさんあります。

現場の声をこれからの支援に反映できるよう、率直なトークが繰り広げられました。



患者さんや医療スタッフらが熱心にトークや音楽に聴き入りました



- ①左から司会の谷畑育子さん（認定NPO法人スマイルオブキッズ 事務局長）、②松本公一医師（JCCG企画広報委員長・国立成育医療研究センター）、③「ちあふあみ！」（小児がんの子どもと家族を地域で応援するCheer Families On!）の活動を紹介した柳町昌克医師、④お子さんやご家族の気がかりを聞き、適切な支援先につなぐサポートを説明した大倉貴和看護師、⑤お医者さんごっこなどを通じた治療サポートなどを語った子ども療養支援士の須藤美奈さん、⑥医療と離れた遊びの時間を大切にしている医療保育専門士の植木茜さん、⑦泣き叫ぶこともあるお子さんを肯定しながらかわることを話したホスピタルプレイスペシャリストの石谷学さん、⑧ファシリテッドッグのアニーとペアを組むハンドラーとして、アニーが子どもたちに寄り添う姿を紹介した森田優子さん。（③～⑧ 神奈川県立こども医療センター）



恒例の…全国ライトアップリレー中継

東京



東京スカイツリー®
（東京都墨田区）
てっぺんから足元まで、
全身温かみのあるゴールド一色になるのは
1年で9月9日だけ。

中継協力⇒国立がん研究センター中央病院：宮崎文平医師、旭くん光のプロジェクト：江村美紀さん

宮城



伊達政宗公騎馬像（宮城県仙台市）
神々しい金色の輝きに、「おお、かっこいい！」とどよめきが上がりました。

中継協力⇒宮城県立こども病院：佐藤篤医師ら



沖縄



12歳で白血病にかかり、10年間闘病している米須清彩（セイア）さんは、「キャンドルに魂がこもっていると感じます」と胸いっぱいな様子で語りました。

中継協力⇒子ども応援団笑びん：森田好美さんら

中継協力⇒産業医科大学病院：水城和義医師ら、にこスマ九州：井本圭祐さん



沖縄アリーナ（沖縄県沖縄市）ひとつひとつキャンドルを並べたゴールドリボンちゃんがかわいらしく浮かびあがりました。

小倉城（福岡県北九州市）にこスマ九州のスタッフがライトにゴールドのセロファンを貼り、美しい輝きを演出しています。

小児がんの患者さんとお家族をつなぐ 光と歌声

小児がんの治療では、患者さんが地元を離れ、大きな病院で治療をするケースも少なくありません。神奈川県立こども医療センターにも青森から母子で治療に訪れている患者さんがおられます。

GGSCメインイベントでは、プレイベントとして青森県弘前市で開催された小児がん支援コンサートの様子が紹介されました。ライトアップが全国で展開されていることも知ったそのお母様は「青森のコンサートの歌声に、私も息子もこれから治療にむかう勇気をもらいました。私たちはここ神奈川で、家族は青森で、それぞれのライトアップを見て心をつなげることもできます」と話していました。



神奈川



神奈川県立こども医療センターのイベントで流れた全国小児がんチャリティーコンサート（青森県弘前市）の様子



同病院を照らすゴールドの光を浴びながらゴスペルを熱唱するコーラスグループ「VOJA」と、手拍子を送る患者さんら。
(神奈川県横浜市)



青森

金色に輝く弘前城（青森県弘前市）



空はつながっているから

神奈川



神奈川県立こども医療センターから見上げる夕暮れ

青森



小児がん支援コンサートがあった岩木文化センター越しの空



～ メインイベント共催団体 ～

一般社団法人 旭くん 光のプロジェクト
医療・音楽・教育を通じて子どもの幸せをサポート



アーカイブはこちら！

※機材トラブルにより、1:08～1:19の間で音声途切れます。ご了承ください。





全国126か所のライトアップ！！

小児がんへのご理解ご支援を呼びかけるゴールドライトアップが広がってきました。美しい光と、各地域の皆さんそれぞれの思いをお届けします。

初年度 2021年：15か所

⇒ 2022年：38か所 ⇒ 2023年：69か所

⇒ **今回 2024年：126か所**



Gold September
公式キャラクター

ライトン

© 326

「ライトン」はライオンの赤ちゃん。「ライオン」「ライトアップ」「ライトのスイッチをオン！」の文字をぎゅっとまとめた名前です。各地のライトアップを応援するよ♪



2024年は子どもたちが大好きな場所のライトアップが増えました！

※数字は原則北からの通し番号

埼玉



20.東武動物公園（南埼玉郡宮代町）
中央入り口から入ってすぐにあるカバの親子のブロンズ像。動物園の象徴として親しまれています。

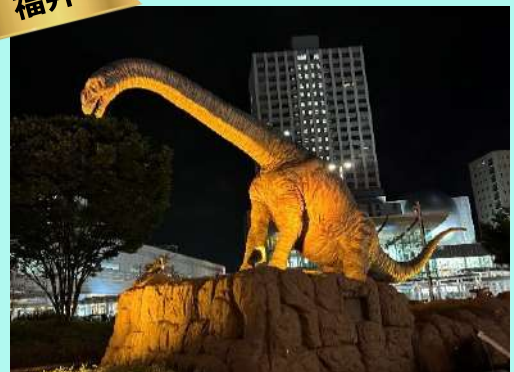
奈良



83.天理駅前広場
コフン
（奈良県天理市）
古墳をモチーフにしたユニークな造形の広場。子どもたちが飛びはねたり駆け上がったたりして遊べる人気スポットです。

福井

49. 福井駅西口広場 恐竜モニュメント（福井県福井市）
恐竜王国としても知られる福井県。地元で発掘された恐竜を、迫力ある実物大で展示しています。





全国のライトアップを紹介します！

※数字は原則北からの通し番号

Gold September公式キャラクター

「みんなの思いをつなぎたい」と生まれたゴールドセプテMBERキャンペーンのキャラクター。ユニコーン（馬に似た伝説の生き物）とこぶた（子豚）のペアでバトン（馬豚）をつなぐよ。

北海道



1. さっぽろテレビ塔

青森



2. 弘前城



弘前大学医学部附属病院



3. 八戸市総合保健センター

宮城



4. 仙台スカイキャンドル



9. 伊達政宗公騎馬像



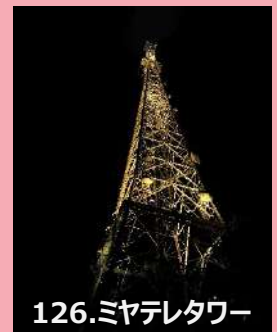
5. 東北大学病院



6. 宮城県立こども病院



7. 宮城大学大和キャンパス



126. ミヤテタワー

宮城



8.宮城こどもホスピスプロジェクト「川平のおうち」



10.アクアイグニス仙台

手作りゴールドリボン
ちゃんのライトアップが
あちこちに♡



福島



12.会津鶴ヶ城



11. 東北電力福島電力
センター 無線鉄塔

茨城



13.つくばセンター広場





歴史・文化・スポーツ！ 医療・レジャー・交通も！
さまざまな施設がゴールドに



栃木



14. 栃木県本庁舎 昭和館

大きな光、小さな光 みんなでひとつに

長く県庁として親しまれた建物の、正面部分が移築された昭和館。ライトアップ当日は、自治医科大学附属病院医師の呼びかけでお子さんご家族、院内スタッフが参加しました。

「できるだけ美しく輝くように」と、県庁の担当者は照明の色を懸命に調整し、ご家族は参加人数分のゴールドリボンやランタンを手作りしました。歴史的建造物の趣も加わった黄金と、患者さんらの思いを乗せた手のひらサイズの金色が、唯一無二の光景を織りなしました。

同病院の五味玲医師は、「みなさんが口々に『きれい』と喜んでくださって、子どもたちもうれしそうに走り回り、みんなが元気になれる機会となつてよかったです」と感想を語りました。

群馬



15. 臨江閣と日本庭園

埼玉



16. さいたまスーパーアリーナ



17. 埼玉スタジアム2002



18. 埼玉県立がんセンター



20. 東武動物公園



19. 埼玉県立小児医療センター



21. 県民活動総合センター



22. 彩の国さいたま芸術劇場

東京



24. 東京都立小児総合医療センター

千葉



23. 千葉都市モルレル セントラルアーチ



東京

夜空に咲いた、ゴールドリボン花火



26.調布花火



美しさ・豪華さともに全国有数といわれる調布花火にスペシャルな光が出現！調布市にオフィスがあるアフラック生命保険会社の働きかけで、ゴールドリボンの形の花火が打ち上げられました。



丸玉屋小勝煙火店花火師、竹山裕之さんは、「もともと地域貢献意識が強く、『皆さんに喜んでもらえるように』と、気合いを入れて花火作りに取り組んでいます。ゴールドリボン型花火の依頼についても、半年ほど試行錯誤しました。ゴールドは花火にはよくある色だからこそ美しく映える色合いにこだわり、リボンのくるんとした形を空で表現できるように火薬の並べ方には細心の注意を払いました。何度かテスト打ち上げをし、『いけるぞ』という形になりました。夜空を彩る花火で何かの役に立てたのであれば、花火師としても本当にうれしいです」と話しています。



25.調布市文化会館たづくり



27.東京スカイツリー®

神奈川



28.神奈川県本庁舎



29.横浜市庁舎



30.よこはまコスモワールド「コスモクロック21」

33.アニヴェルセルみなとみらい横浜

魔法のような美しさ



横浜一帯のライトアップには、「光の魔法がかかったみたい!」との声も届きました。



31.横浜マリンタワー



32.横浜ハンマーヘッド



34.象の鼻パーク



35.女神橋

神奈川

ひとつひとつに 願いを込めて



38.みんなのレモネードの会事務所

子どもたちやご家族の手作りランタンにも温かいゴールドが灯りました。
好きなキャラクターや動物、レモネードスタンド活動をテーマにしたかわいいレモンのイラスト、「子どもたちが当たり前になれる未来を」といった願い…。それぞれに大切な思いが表現されています。

手作りランタン

各地



13.つくばセンター広場



23.千葉都市モルレルセントラルアーチ



104.小倉城



10.アクアイグニス仙台



122. 富岩運河環水公園 野外劇場



神奈川



36.神奈川県立こども医療センター



37.横浜こどもホスピス うみとそらのおうち



39.伊勢原協同病院



40.東海大学医学部附属病院



41.お風呂の王様 町田店



42.平塚駅南口広場 人魚噴水公園

神奈川



43. 江の島シーキャンドル



44. 秦野戸川公園



45. 小田原城



46. 松田山ハーブガーデン



125. しばキッズクリニック

新潟



47. 上越 高田城

富山



121. 帆船海王丸



123. NHK富山放送局

灯り ~Tomori~ candle&fire



122. 富岩運河環水公園 野外劇場

「小児がんなどの困難と向き合っている子どもたち、旅立った子どもたち、一人ひとりのことを思い、ずっと忘れない」との気持ちで開催されているイベント「灯り」(ともし). 灯り実行委員会には多くの協力者が参加、息をのむようなキャンドルアートやファイアーパフォーマンスが披露され、会場は感動に包まれました。



約1000個が並ぶ幻想的なキャンドルアート



迫力のファイアーパフォーマンス

福井



48. 福井城址

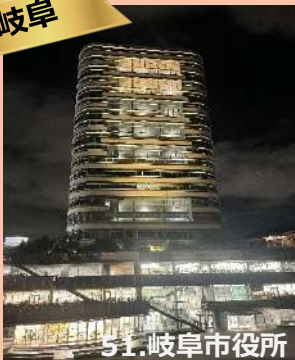


49. 福井駅西口広場 恐竜モニュメント



50. 丸岡城

岐阜



51.岐阜市役所

静岡



52.駿府城公園 巽櫓



53.静岡庁舎
本館ドーム
「あおい塔」



愛知



54.日本赤十字社愛知医療センター



55.中部電力 MIRAI TOWER



56.オアシス21 水の宇宙船

滋賀



57.彦根城

京都



58.東寺

大阪



60.太陽の塔



ソーラーランタン100個！
みんなで並べて
光らせて



62.一心寺山門



59.大阪城



61.天保山大観覧車



63.一心寺シアター倶楽



119. 尼崎城

「みんなのゴールドセプテンバー」は、スマートフォンのフラッシュライトを灯し、子どもたちにエールを送る取り組み。参加型のGGSCとして昨年始まりました。



82. 兵庫県立尼崎小田高校



64. 多可町文化会館ベルディーホール

「KOBE ライトアップ DAY」



75. 神戸市役所1号館



76. 神戸市立博物館



神戸市は、2011年度に策定した「神戸市夜間景観形成実施計画」に沿った取り組みとして、四季折々の光の演出や、テーマ性を感じられる光の演出を推進しています。

「KOBE ライトアップDAY」は、①神戸ならではの日、②多くの人々が賑わう暦上のイベントの日、③普及啓発キャンペーンのライトアップの日を選定基準とし、複数のライトアップ施設と連携して光のメッセージを発信しています。

小児がん啓発のゴールドセプテンバーキャンペーンも「KOBE ライトアップDAY」のイベントとして、9月21日に一斉ライトアップされました。



66. メリケンパーク (BE KOBEモニュメント)



65. じおさい公園 (BE KOBE モニュメント)

67. かもめりあ

68. ハーバーランド線照明灯

69. フラワーロード

70. ポートターミナル西デッキ

71. 神戸ポートタワー

72. 三宮プラッツ

73. 市章山電飾

74. 神戸海洋博物館

77. 神戸大橋

78. 錨山電飾

79. 兵庫運河新川プロムナード

80. 明石海峡大橋

81. 六甲アイランド・リバーモール

65～81の施設名は、9月初旬のライトアップ予定情報に基づいています。



奈良



83.天理駅前広場コフン

和歌山

光るホールで啓発人形劇



84.和歌山城ホール



金色に照らされた和歌山城ホールでは、小児がんへの理解を深めるための人形劇「だいじょうぶ マイちゃん」が上演されました。公演を行ったのは、和歌山大学教育学部の武田鉄郎研究室OB・OGによって結成された、障害児・病弱児理解啓発チーム「オレンジキッズ」です。

劇は、白血病と診断された少女・マイちゃんが、病気への不安を抱えながらも周囲の人々の支えによって前向きに治療に向き合っていく姿が描かれています。医師役は和歌山県立医科大学附属病院の辻本弘医師が演じ、「だいじょうぶだよ」とマイちゃんを温かく励ますやりとりに、観客は真剣に見入っていました。



島根



85.出雲大社



人形劇「だいじょうぶ マイちゃん」



86.松江城



87.島根県立しまね海遊館アクアス

岡山

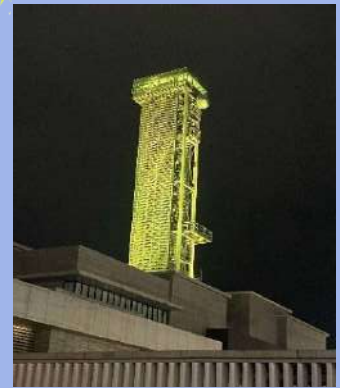


89.岡山城

広島



90.広島城



88.TSKさんいん中央テレビ



120.岡山県庁



山口



91.オーヴィジョン海峡ゆめタワー

徳島



子どもたちのために
心をひとつに

啓発のぼりやポスター
手から手へ

スマイルアクションinとくしま実行委員会で作成された200枚の啓発ポスターは、商店や事務所、いたる所で快く掲示され、瞬間に広がりました。



スマイルアクションinとくしま
実行委員会

スマイルアクションinとくしま

smile



Action



皆さんの善意であちこちに



92.徳島県庁



93.徳島大学病院



94.徳島県立中央病院



95.徳島中央公園鶯の門

思い思いの光のエール



香川



96.うたづ海ホテル



97.高松シンボルタワー

愛媛



98.愛媛県庁



99.松山市総合福祉センター



100.大洲城



101.道後聖母幼稚園



102.八十八ヶ所霊場第51番札所石手寺

福岡



104.小倉城



105.赤煉瓦文化館



103.愛媛大学医学部附属病院



106.博多ポートタワー



108.北九州市モルレル

佐賀



109.佐賀メディカルセンタービル



107.福岡市総合体育館



長崎



110. 稲佐山山頂電波塔

熊本



111. 熊本城

宮崎



112. 宮崎県庁



沖縄



113. 沖縄アリーナ



114. 沖縄子どもホスピス建設予定地



115. 沖繩市中央パークアベニュー



116. 中城城址



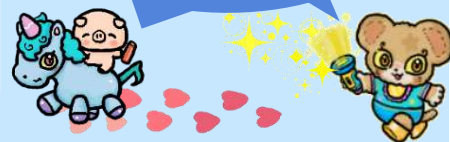
124. エアポートビューNAHA



117. FMよみたん



各地それぞれの
温かいライトアップを
ありがとうございました♪





～小児がんをかつ飛ばせ～ 「ゴールドリボンナイター」

主催：ヤクルト球団

協賛：NPO 法人キャンサーネットジャパン (CNJ)

2024年9月7日、小児がんの子どもたちを応援する「ゴールドリボンナイター」が、東京ヤクルトスワローズの本拠地：明治神宮野球場（東京都新宿区）で行われました。小児がんの経験者とご家族ら55人が招待され、球場セレモニーや阪神タイガースとの対戦を楽しみました。

始球式には中畑匠水さん（高1）が登板。力強いフォームからのストライクにスタンドからは大きな拍手が送られ、球団関係者も「今年一番の温かく響く音」と感慨深げでした。

花束贈呈や選手を出迎えるエスコートキッズとして選手と交流した子どもたちは、セレモニー後、「とても楽しかった。今度は自分が元気を与えられる存在になりたい」「これまで治療をがんばってきて本当によかった」などと感想を語りました。

ゴールドリボンナイターは開催3年目。趣旨への賛同者も増え、ヤクルトの高津臣吾監督夫人真紀さんの呼びかけで有志が集まり、小児がん啓発のための募金活動が行われました。

※写真はCNJ提供



直球を投げ込む中畑さん



エスコートキッズに、選手が目線に合わせて声をかける場面



フリーアナウンサーでCNJ理事の中井美穂さんが、小児がんについて説明、支援を呼びかけました

スポーツの応援

光を届けよう！

2024年9月3日、MK TAXI FIELD EXPO（大阪府吹田市）で行われた関西学生アメリカンフットボールリーグ：関西学院大学vs.桃山学院大学の試合にて、競技場から入院中の子どもたちへ、光のエールが送られました。

ハーフタイムに観客がそれぞれ自分のスマートフォンのフラッシュライトを灯し、約3km先にある大阪大学医学部附属病院に向けて一斉に光を揺らしました。まるで光の波のように見える輝きは、動画撮影もされ、同病院に届けられました。

協力：関西学生アメリカンフットボール連盟



～未来の地球に、
いいパスを。～

「SDGsmile マッチ」

主催：ガンバ大阪

※SDGs:持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals. 17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っている。

2021年シーズンからSDGsプロジェクトを展開しているガンバ大阪。2024年9月28日にホームのパナソニックスタジアム吹田(吹田市)で開催された東京ヴェルディ戦をSDGsを紹介する特別ゲーム「SDGsmileマッチ～未来の地球にいいパスを。」とし、イベントに小児がん啓発を組み込み、子どもたちを試合に招待しました。

ガンバ大阪は日ごろから大阪大学医学部附属病院との交流があり、「何か力になりたい」と、子どもたちへの応援となる企画を検討。医師による啓発ステージ、子どもたちの体調に配慮した試合観戦や、セレモニー参加などが決まりました。

啓発ステージでは、宮村能子医師（大阪大学医学部附属病院）、大植孝治医師（兵庫医科大学病院）らが小児がん支援の重要性やゴールドの意味を説明しました。

キックオフ前に、大歓声の中子どもたちがフラッグベアラ（選手に先立ってフラッグを持って入場）として登場。大役を務めた子どもたちは「緊張したけれど選手たちが活躍する広いスタジアムを歩いてよかった」と誇らしい笑顔でした。大阪大学医学部附属病院チャイルドライフスペシャリストの馬戸史子さんは「子どもたちとご家族にとってかけがえのない体験・特別な時間をありがとうございます」と感謝の言葉を語りました。



小さなサポートの気持ちが大きな力になると語る宮村医師



フラッグを手に堂々と入場する子どもたち

※写真はガンバ大阪提供

ご協力をありがとうございました！

Smile Action

スマイルアクションとは…



ゴールドセブンバーキャンペーンの趣旨に賛同し、各地で開催される小児がんの啓発イベント

協賛：一般財団法人京都仏教会、326(ナカムラミツル)様、株式会社村上農園、ハートリンク共済、FAHome Sound&Lights 認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、一般社団法人関西学生アメリカンフットボール連盟、公益財団法人がんの子どもを守る会、一般社団法人彦根薬剤師会、NPO法人 さい帯血バンクサポート宮城、株式会社東屋、明治安田生命保険相互会社、川崎中央ロータリークラブ

協力：公益財団法人がんの子どもを守る会、認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク、一般社団法人Empower Children、株式会社毎日新聞社、アフラック生命保険株式会社、認定NPO法人キャンサーネットジャパン (CNU)、特定NPO法人ぶくぶくぼーん、一般社団法人旭くん光のプロジェクト、湘南ベルマーレ、ガンバ大阪、京都高島屋S.C.、フィデリティ投信株式会社、認定NPO法人にこスマ九州、認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、NPO法人ホスピタルフットボール協会、調布花火大会実行委員会、早稲田ビジネススクール、株式会社さつぽろテレビ塔、弘前大学医学部附属病院小児科患者家族会「ういず」、青森県小児がんの子ども・家族のサポーター「ともしびプラス」、弘前市、八戸市、NPO法人アンドブライツ、NPO法人宮城こどもホスピスプロジェクト、株式会社仙台放送、公立大学法人宮城大学、仙台市、仙台川平教会、会津若松市、株式会社東北電力福島支店、HiStar★Snow★Tsukuba、栃木県、前橋市、埼玉県、さいたま市、株式会社さいたまアリーナ、公益財団法人埼玉県公園緑地協会、地方独立行政法人埼玉県立病院機構、東武レジャー企画株式会社、公益財団法人いきいき埼玉、千葉市、調布市、東武タワースカイツリー株式会社、アニヴェルセルみなとみらい横浜、認定NPO法人スマイルオブキッズ、ちあふあみ、合同会社クランプ(CLAMP,LLC)、リストロボパティーズ株式会社、一般社団法人みんなのレモネードの会、新港ふ頭客船ターミナル株式会社、泉陽興業株式会社、認定NPO法人横浜こどもホスピス うみとそらのうち、泉陽興業株式会社、上越市、認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト、坂井市、福井県、岐阜市、静岡市、栄公園振興株式会社、名古屋テレビ塔株式会社、彦根市、京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社、東寺(教王護国寺)、NPO法人ホスピタルフットボール協会、一心寺文化事業財団、大阪市、神戸市、多可町、和歌山市、和歌山親子のつどい実行委員会、かけはしの会、鳥根県、鳥根大学、岡山県、岡山市、広島市、一般財団法人山口県国際総合センター、海峽ゆめタワー、徳島県、シンボルタワー開発株式会社、愛媛県、松山市、大洲市、道後聖母幼稚園、八十八ヶ所霊場第51番札所石手寺、NPO法人ラ・ファミリエ、福岡市、北九州市、公益財団法人佐賀県健康づくり財団、長崎市文化観光部観光政策課、熊本市、熊本城総合事務所、早稲田大学、経営管理研究所鶴谷セミ、宮崎県、中城城址共同管理協議会、沖縄アリーナ株式会社、沖縄バスケットボール株式会社、株式会社トータルサポート研究所、株式会社ファンファレ・ジャパン、株式会社FMよみたん、子ども応援団笑びん、スケートクラブオリオン

協力病院：北海道大学病院、弘前大学医学部附属病院、宮城県立こども病院、東北大学病院、福島県立医科大学附属病院、自治医科大学とちぎ子ども医療センター、自治医科大学附属病院、群馬県立小児医療センター、埼玉県立がんセンター、埼玉県立小児医療センター、成田赤十字病院、千葉県こども病院、千葉大学医学部附属病院、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター、新潟大学医学部総合病院、岐阜市民病院、静岡県立こども病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、京都府立医科大学附属病院、大阪市立総合医療センター、大阪大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、兵庫県立こども病院、和歌山県立医科大学附属病院、兵庫医科大学、鳥根大学医学部附属病院、岡山医療センター、岡山大学病院、倉敷中央病院、広島大学病院、山口大学医学部附属病院、産業医科大学病院、徳島県立中央病院、徳島大学病院、香川大学医学部附属病院、四国こどもととなの医療センター、愛媛県立中央病院、愛媛大学医学部附属病院、今治市医師会市民病院、松山赤十字病院、久米米大学病院、九州がんセンター、九州大学病院、宮崎大学医学部附属病院



ここにお名前を記載しきれなかった多くの皆さまにも、温かいご支援をいただいております。ゴールドセブンバーキャンペーンにご賛同・ご協力くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

ご寄付のお願い



ご寄付はこちらへお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行 郵便振り込み
口座記号 00850-5 口座番号 153506
加入者名 NPO JCCG

JCCG HP より、クレジットカード寄付も可能です

JCCGホームページ



ご寄付のお願い

最善の治療体制を構築し、最良の治療法を開発するために。



小児がんの種類はとて多くまれなものばかり、日本では小児がん治療を研究する専門家が少ない、治療開発や薬品に於ける予算も欧米に比べて少ないのが現状です。最善の治療体制を構築し、最良の治療法を開発するために、皆様のご支援を必要としています。小児がんの子どもたちのために、ぜひご協力をお願いいたします。

ご寄付について詳しくはこちら

小児がんの子どもたちのサポートにご協力ください

1 カ月あたり 1000 円、年間 12000 円のご寄付で、がんの子ども 1 人の治療支援が可能になります。

「未来の新治療開発」(バイオバンクへの細胞保存)、「正確な診断」(中央診断システムの維持)、「大人になるまで見届ける」(長期フォローアップ手帳の確実な配布と運用)。そのため、小児がんの患者さん 1 人に年間約 12000 円が必要です。

JCCG は、毎年新たに発症する 2500 人の子どもの命を守ろうと努力しています。

一人でも多くの子どもたちに、「治った！」という明るい未来をプレゼントするために、どうかご協力をお願い申し上げます。



JCCG 事務局

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 6 番 35 号 8 階

TEL : 052-734-2182 FAX : 052-734-2183 E-mail : friend@jccg.jp



Special Thanks!

イラスト：かーとーゆーこ (<http://katoyuko.sakura.ne.jp/>) コピーライティング：石黒 佐和子
JCCG 自動販売機デザイン：有限会社 Sadatomo Kawamura Design

JCCG ニュースレターは、ご寄付をいただいた皆様や以下の支援団体様のご協力のおかげで発行されております

